市政トピックス

世界糖尿病デー

詳細 健康づくり課 ☎(32)6410

11月14日は世界糖尿病デーです。糖尿病の早期発見、早期治療、偏見解消に向け、市内10カ所のブルーライトアップや糖尿病市民公開講座を実施します。「糖尿病」について、一緒に考えてみませんか。



①ブルーライトアップ苫小牧

とき 11月14日㈯　17時～21時

ところ イオンモール苫小牧、苫小牧信用金庫本店、緑ケ丘公園展望台、nepiaアイスアリーナ、苫小牧西港フェリーターミナル、キラキラ公園、市立病院、よしだ内科循環器クリニック、科学センター、浄土真宗本願寺派正光寺

②糖尿病市民公開講座

とき 11月14日㈯　14時～16時　**ところ** 苫小牧市医師会館 3階講堂

内容 総合司会：王子総合病院　院長/苫小牧市医師会　理事 三木(みき) 隆幸(たかゆき) 氏

講演1：「糖尿病を知って、上手に付き合う～糖尿病の全体像と、運動療法への入口～」
おおはた内科循環器クリニック　医師 大野(おおの) 紘平(こうへい) 氏

講演2：「健康診断で見逃さない！糖尿病のサインと早期発見のコツ」 苫小牧東病院　看護師 箱﨑(はこざき) 理恵(りえ) 氏

講演3：「糖尿病の運動療法 今日から気軽に始める貯筋生活」 王子総合病院　理学療法士 會津(あいづ) 圭崇(よしたか) 氏

特別講演：「自分に合った方法で体と向き合うこと～チームスポーツの経験から考える人それぞれの健康管理～」
女子アイスホッケー　元スマイルジャパン 大澤(おおさわ) ちほ 氏

▲申し込み

▲詳細

定員 130人　**申し込み** 11月9日㈪までに電話またはファクス、二次元コードで　☎(32)6410 FAX(32)4322

高齢者虐待を防ぎましょう

詳細 介護福祉課 ☎(32)6347

高齢者虐待とは?

高齢者虐待防止法では、高齢者が介護者から、不適切な行為や扱いによって権利・利益を侵害される状態、生命・健康・生活が損なわれる状態におかれることを『高齢者虐待』と定義しています。
高齢者虐待は身体的虐待/心理的虐待/介護・世話の放棄・放任(ネグレクト)/経済的虐待/性的虐待の大きく5種類に分けられます。

介護をしている方へ

一人で悩まず、抱え込まず、市介護福祉課またはお近くの地域包括支援センターへご相談ください。

虐待を防ぐためにできること

虐待を防止するためには“虐待をしない、させない、助けてと言える地域づくり”が重要です。深刻な事態を防ぐために、地域の温かい見守りや支え合い、介護や認知症など高齢者を取り巻く環境の適切な理解が必要です。

地域の皆さんへ

お近くの高齢者の困り事やご本人では気付きにくい変化は、地域の皆さんだからこそ気付くことができる場合があります。「今までと違うな」「様子が心配だな」と思ったら、市介護福祉課またはお近くの地域包括支援センターにご相談ください。

■高齢者虐待の相談・通報先

市介護福祉課	☎(32)6347	山手地域包括支援センター	☎(71)5565	明野地域包括支援センター	☎(53)4165
西地域包括支援センター	☎(61)7600	南地域包括支援センター	☎(71)5005	東地域包括支援センター	☎(52)1155
しらかば地域包括支援センター	☎(71)5225	中央地域包括支援センター	☎(36)3712		

相談・通報は匿名で行うことができ、内容に関する秘密も守られます。調査の結果、虐待がなかったとしても、連絡した方が責任を問われることはありません

広告